

平成30年11月吉日

幕末の二か月間だけ描くことを許された「将軍」の浮世絵

「将軍と京都」展

京都浮世絵美術館では、12月1日(土)より2019年5月31日(金)まで、「将軍と京都」展を開催いたします。

文久3(1863)年、第3代将軍徳川家光以来、約230年ぶりに第14代将軍徳川家茂による上洛が行われました。

この江戸から京都までの上洛の様子について、文久3年の4月から5月の間という短期間に限り、幕府の下命により、歌川派16名の絵師が将軍の姿を描くことを許され、25の版元から浮世絵が次々と販売されました。通称「御上洛東海道」シリーズと呼ばれています。

今回の当館での特別展示では、参加した歌川派16名の絵師の内、8名の絵師が描いた、京都を中心とした畿内の諸国が舞台となった浮世絵を展示いたします。将軍や天皇の象徴などを華やかに描いた、それぞれの絵師の特徴をお楽しみください。

その他 葛飾北斎や歌川広重、歌川国芳といった人気絵師の、江戸時代当時の浮世絵作品も複数展示しております。

また、「将軍と京都」展と同時開催として、尾州長船 景光・兼光の親子刀の刀剣も特別展示しております。

<本件に関するお問合せ先>

京都浮世絵美術館

京都市下京区四条通寺町西入ル奈良物町 365 キリハタビル 2 階

TEL : 075-223-3003 FAX : 075-223-3004

info@kyoto-ukiyo-e-museum.com

<https://www.kyoto-ukiyo-e-museum.com/>